

各位

会 社 名 日本板硝子株式会社
 コード番号 5202
 本社所在地 東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
 代 表 者 細沼 宗浩
 問 合 せ 先 IR 部長 源甲斐 洋行
 電 話 03-5443-9522 (代表)

2026 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 9 日に公表した 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の第 2 四半期（累計）連結業績予想と本日公表の実績値との間の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 2026 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異 (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(百万円)

	売上高	営業利益	税引前利益	中間利益 (△損失)	親会社所有者 に帰属する 中間利益 (△損失)	基本的 1 株当たり 中間利益 (△損失) (注)
前回発表予想(A)	420,000	10,000	1,000	△ 2,000	△ 3,000	△ 43 円 65 銭
実績値 (B)	420,753	11,995	401	△ 3,360	△ 4,220	△ 55 円 29 銭
増減額(B-A)	753	1,995	△ 599	△ 1,360	△ 1,220	△ 11 円 64 銭
増減率(%)	0.2%	20.0%	△ 59.9%	-	-	-
参考：前期実績	422,437	10,229	154	△ 3,396	△ 3,867	△ 53 円 18 銭

(注)基本的 1 株当たりの中間利益（△損失）については、A 種種類株式にかかる配当金の影響を考慮した数値を記載しています。

II. 差異の理由

主に欧州の建築用ガラス事業で販売価格が上昇した結果、売上高および営業利益は 5 月に公表した予想数値を上回りましたが、英国債売却に伴う損失を個別開示項目に計上したため、税引前利益は予想数値を下回り、中間損失および親会社所有者に帰属する中間損失は予想数値より拡大しました。

なお 2026 年 3 月期通期連結業績予想は、欧州市場の緩やかな回復を見込みつつも米国関税政策の動向など依然不透明な事業環境を踏まえ、変更ありません。

2026年3月期 業績予想



通期業績予想は変更なし。
利益改善のためのあらゆる施策をグループ横断で実施

(億円)	2026年3月期 上期予想	2026年3月期 上期実績	2026年3月期 通期予想 (変更なし)	2025年3月期 通期実績 (参考)
売上高	4,200	4208	8,500	8,404
営業利益	100	120	310	165
個別開示項目 (純額)	10	△ 6	10	△ 52
個別開示項目後営業利益	110	114	320	112
金融費用 (純額)	△ 130	△ 135	△ 270	△ 253
持分法による投資利益	30	25	60	55
税引前利益 (△損失)	10	4	110	△ 85
当期利益 (△損失)	△ 20	△ 34	40	△ 135
純利益 (△損失)*	△ 30	△ 42	20	△ 138

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

(注) 上述の業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市況、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

以 上